

2026年3月5日

課題名：術後合併症ハイリスク肺癌患者に対する術前呼吸リハビリテーションの効果：吸気筋力改善幅（ $\Delta P_{lmax}$ ）と術後呼吸器合併症の関係

◆研究の目的と概要◆

当院では、「肺癌の手術を受けられる患者さんのうち、高齢の方や肺機能が低下している方（術後合併症のリスクが高い方）」について、術前のリハビリテーションによる吸気筋力の改善が、術後の合併症予防にどのように寄与しているかを調べています。本研究では、リハビリテーションの効果を最大限に引き出すための具体的な目標値を設定することを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2024年4月から、2026年2月までの間に、肺癌の手術目的で当院に入院し、術前に理学療法士による呼吸リハビリテーションを受けた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

電子カルテに記録されている以下の診療情報を使用します。

- ・患者背景：性別、年齢、身長、体重、肥満度（BMI）、喫煙歴、過去の病気、現在治療中の病気
- ・手術に関する情報：手術の方法、手術にかかった時間、出血量
- ・肺機能検査の結果：肺活量、息の吐き出しやすさ、肺での酸素の取り込みやすさ
- ・呼吸筋力（呼吸に使う筋肉の強さ）：介入前後における息を吸う力および吐く力の測定結果と、その改善の度合い
- ・術後の経過：手術後の合併症（肺炎、肺の膨らみ不良、肺からの空気漏れ、リンパ液の漏れ）の有無、手術後の入院期間

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年3月31日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で

発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 小野 敬史

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明